

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

キッズボンド竹鼻

調査期間：令和4年 11月 1日～令和4年 11月 30日 回答職員数： 4名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0	机の配置など工夫をしている。 利用する児童によって、ばらつきを感じる時がある。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	0	原則として児童2.5人に対して1名の指導員を配置している。 急な利用などがあると、どうしても、もう少し人手が欲しくなることがある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	0	バリアフリーになっている。 思いつかない部分で配慮が必要なところがあるかもしれないと思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	0	毎日、支援終了後に清掃、殺菌を行い、支援中は常時換気を行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	0	毎日、受け入れ前ミーティングを実施。支援終了後に気になる点の話し合いをしている。週1回職員会議を実施し、意見を出し合っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	毎年、評価表の配布を実施し、保護者とLINEや電話で連絡をとり、保護者の意向を把握するよう努め、業務改善を行っている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1	ホームページに公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2	市の福祉課や相談事業所の意見を取り入れている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	定期的に研修を行っている。（オンライン研修等）
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4	0	Vineland- II、ASIST を職員で実施し、専門職のスーパーバイズを受けて支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0	Vineland- II や ASIST を活用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	0	ガイドラインを踏まえて、子供の状態や特性等に配慮した支援を行っている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	0	支援計画に沿った支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	担当者が原案を考え、職員会議で話し合って決定している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	職員会議を中心に職員間で話し合って案を出し合っている。

	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	4	0	子どもの状況等を考え、活動できるよう工夫し計画している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	受け入れ前ミーティングを行い、パート職員含めた当日職員で確認を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1	個人記録の記入の際に特に個々の様子など話し合いながら共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	支援終了後に必ず個人記録を作成し、職員間で情報共有している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	定期的にモニタリングを行い、見直し等を行っている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	サービス担当者会議があるときは児発管が参加し、情報共有をしている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	1	相談支援事業所等と連絡を取り合っている。関係機関連携はコロナが収束したら再開したいと考えている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	-	-	該当児童なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	-	-	該当児童なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	0	関係機関と連携を取りながら情報共有、相互理解に努めていきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	0	関係機関と連携を取りながら情報共有、相互理解に努めていきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	公認心理士や言語聴覚士から助言を受けている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3	公共の施設(公園など)で機会は得られていると思う。今後は、もっと機会を多くしていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか	1	3	機会がなかった。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	送迎時にお話ししたり、保護者との面談を行ったりして共通理解を持てるよう努めている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	0	日々の連絡や定期的な面談を通じて支援を行っている。
保護者への説明責任	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	契約時に説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4	0	保護者に支援計画について説明を行い、同意を得ている。

非常時等の対応	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	定期的に面談を行っているが、それ以外にも相談があれば、対応している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3	コロナ渦で行えていない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	苦情があった場合、担当指導員が管理者・児発管に報告し、保護者と面談するなど速やか且つ適切な対応をとっている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	毎日の Facebook のアップ、毎月の通信発行、配布を行っている。行事予定も毎月配布している。連絡体制は、LINE を活用している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4	0	鍵付き書庫で保管している。HP 上の写真には保護者の同意を得た上、モザイクをかけている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	1	3	わかりやすい言葉や視覚化して伝えている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	0	垂直避難訓練時にお知らせを掲示したりしている。行事への招待などは機会がなかった。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	0	月 1 回命を守る訓練を行っている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	月 1 回、避難経路の確認、避難、防犯、動画鑑賞等で訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4	0	定期薬については保護者との面談時に確認を行っている。発作等のある子どもについては対応等を保護者に確認している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	0	保護者が医師から受けた情報に基づいて対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	事業所内で共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	定期的な研修の中でテーマとして取り上げている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	0	身体拘束について児童、保護者とも説明をし、理解を得ており、運営規定に記載している。